

# 「次世代郊外まちづくり」とは

2012年4月 横浜市・東急株式会社

「次世代郊外まちづくり」の推進に関する協定を締結

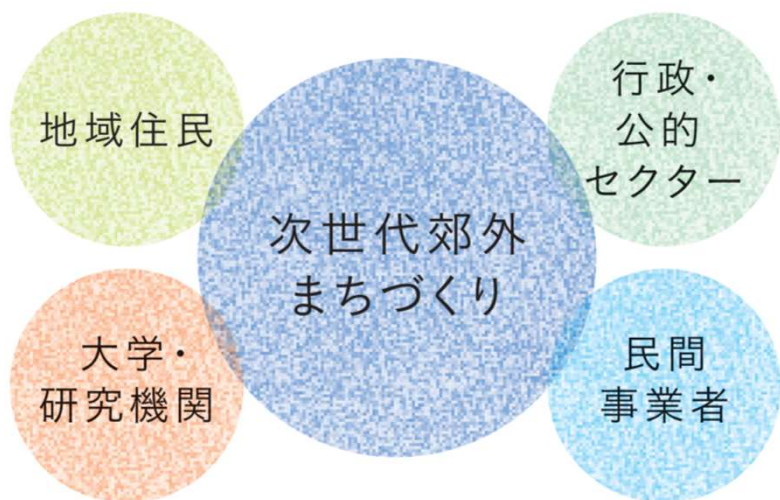
たまプラーザをモデル地区として、産学公民連携で「既存のまち」における良好な住宅地とコミュニティの持続・再生への取組みに着手



2017年・2022年4月 協定更新

郊外住宅地の価値を再創造し、魅力やライフスタイルを社会に提示していく

産・学・公・民連携による  
既存住宅地の再生型のまちづくり



【目指すまちの姿】  
コミュニティ・リビング



# 【第1期】2012年～16年 構想策定・地域との共創

## 基本構想 2013 策定



## イベント・WS・活動 (子育て・医療等)



## 社会実験 (移動・エネルギー等)



## 住民共創の活動



# コミュニティ・リビングの具現化に向けて

## WISE Living Lab さんかくBASE



2017年5月開業

- ・次世代郊外まちづくりの活動拠点
- ・共創のためのリビングラボ機能

## CO-NIWAたまプラーザ



2018年11月開業

- ・分譲マンション低層部に、多世代コミュニティ交流機能、身近な就労機能、保育・子育て支援機能等を整備

# 【第2期】2017年～21年 「田園都市で暮らす、働く」

## プロボノ・セカンドキャリア



## 職住近接



## リビングラボ



## 【沿線展開】 スプラス青葉台



# 【第3期】 2022年～ 「田園都市で暮らす、働く、楽しむ」

## 「暮らす、働く、楽しむ」住宅地へ

住民×学校×行政×企業など多様なつながりによる自由で豊かな暮らし

## モデル地区から沿線展開へ

人のつながり、地域の資産を生かした取り組みを展開

## 4つの地域循環を創出

- ①脱炭素などの環境
- ②世代を超えた交流
- ③地域住民の人材スキル
- ④経済の循環

